

2017年
ヨーロッパ・
フィルム・アカデミー
ヤング観客賞

2017年
バイエルン映画賞
ヤング映画賞

2017年
ズリーン国際映画祭
青少年向け長編映画部門
スペシャル・メンション / ユース審査員賞

2017年
ドイツ・ニューフェイス賞
特別賞

14才の冒険を応援する大人でありたい。

リア充なんてクソ食らえ！ ローン・ウルフになれ！
広野を目指せ!! その先に本当の人生はある。

——原恵——さん(映画監督)

あの夏の日を、
大人になっても
ずっと忘れない——

かつて14歳だった、すべての大人たちへ。
タイムカプセルのような、まぶしくてノスタルジックなひと夏の冒険。

14歳のマイクはクラスのはみだし者。同級生からは変人扱い、しかも母親はアル中で、父親は浮気中。そんなある日、チックというちょっと風変わりな転校生がやって来る。夏休み、2人は無断で借用したオンボロ車“ラーダ・ニーヴァ”に乗って南へと走り出す。窮屈な毎日を飛び出して、全く違う景色を目にしていくな。やがて無鉄砲で考えなしの旅は、マイクとチックにとって一生忘れることのできないものになっていく——。不器用で、まっすぐで、どこまでも走り続けられると思っていたあの頃、誰もが通過する、永遠には続かない「14歳」という一瞬の煌めきを瑞々しく捉え、かつての自分を思い出させてくれる爽やかで切ないロードムービーが誕生した。

名匠 ファティ・アキンが、世界中で愛される
大ベストセラー小説を実写映画化!

原作は、ドイツ国内で220万部以上を売り上げ、26カ国で翻訳される大ベストセラー小説「14歳、ぼくらの疾走」。ドイツ児童文学賞ほか幾多の賞を総なめにし、舞台版は12/13年シーズンの最多上演作品になる驚異の大ヒットを飛ばした。そんな世界中に愛される小説を実写映画化したのは、世界三大映画祭を制覇し、第70回カンヌ国際映画祭でダイアン・クルーガーに主演女優賞をもたらせた最新作「In the Fade」で注目を集める、名匠ファティ・アキン。原作に惚れ込み、監督自ら映画化を熱望して完成した。見事、原作の世界に新たな光を与えたアキンの演出は「全ての小説が『50年後のボクたちは』のように映画化されるべきだ」と絶賛された。さらに、広大な景色や音楽、料理などスクリーンに映し出される出来事の数々は、観る者を主人公たちと一緒に旅している気分させてくれる。

『50年後のボクたちは』舞台版もこの夏上演! 「チック」

〈翻訳・演出〉小山ゆうな 〈出演〉柄本時生、篠山輝信 ほか
〈東京〉8/13(日) ~ 8/27(日) 〈兵庫〉9/5(火)、9/6(水)
〈詳細〉<http://setagaya-pt.jp/> @Tschick2017

監督・共同脚本:ファティ・アキン 原作:ヴォルフガング・ヘルドルフ(「14歳、ぼくらの疾走」小峰書店)
脚本:ラース・フープリヒ クリエイティブ・コンサルタント、共同脚本:ハーク・ボーム 撮影:ライナー・クラウスマン 編集:アンドリュー・バード
出演:トリスタン・ゲベル、アナンド・バトヒレグ、チョロン・パークル、メルセデス・ミュラー
2016年/ドイツ/原題:「Tschick」/93分/ビスタ 配給:ピタース・エンド ©2016 Lago Film GmbH, StudioCanal Film GmbH 
www.bitters.co.jp/50nengo/ www.facebook.com/FatihAkin.movie/ @50nengo_movie

9/16(土) さあ、旅に出よう!

特別鑑賞券¥1,500(税込) 絶賛発売中! (当日、一般¥1,800(税込)のところ)

劇場窓口にてお買い求めの方に、旅のお供にオススメ!

HARIBO  
ハリボーのグミ「ゴールドベア」「ハッピーコーラ」のどちらかプレゼント! *種類は選べません 先着順/限定数/提供:三美食品株式会社

有楽町イトシア イトシアプラザ4F
ヒューマンラストシネマ有楽町

03-6259-8608 www.itcag.jp

テアトルシネマグループ

レイトショーでの上映

JR新宿駅東口GAP並び NOWAビルB1F
新宿シネマカリテ

03(3352)5645 <http://qualite.musashino-k.jp/>

全席指定 / 入替制